

～畜産科学科トピックス～

【夏休みのひとコマ】

今回は夏休み中の畜産科学科を紹介します。農場では家畜の飼育管理のために連日、部活動の生徒たちや研究活動のため登校する生徒たちが見られました。

【牛舎】

牛舎前では連日の暑さで牛たちも夏バテ気味…そこで養牛部の部員たちが交代で牛たちへ水浴びをさせていました。牛舎内には大型扇風機が24時間稼働中ですが、連日の暑さ…人も牛も熱中症対策が必要です！



（写真：飼育するエアシャー種に水浴びをさせる養牛部）

【鶏舎】

こちら暑さには弱い鶏たち…4月に導入した産卵鶏たちも暑さに負けず、順調に成長しています。約300羽のボリスブラウン種は8月下旬頃から産卵が始まる様子とのこと…初卵期間を経て、9月中旬以降には直売所での販売が再開される予定です。相っこ卵も購入までもうしばらくお待ちください！



（写真：産卵鶏たちもこの夏の暑さにバテ気味です）

【畜産科学科の畑】

畜産科学科の部活動では家畜の飼育管理とともに畑での野菜栽培を行っています。栽培する種類はそれぞれの部活動で多岐に渡り、養牛部ではナス、ピーマン…養豚部ではエダマメ、ジャンボピーマン、丸ナス、カボチャ、スイカ…養鶏部ではトマト、トウモロコシ…など直売所での販売、飼育管理の合間の部員たちの息抜き場となっています。畜産科学科では1年生の科目で栽培を学びますが、それ以外では畑作に触れることが少ないため、部員同士で協力しながら、栽培管理を進める貴重な経験となっています！



（写真：生長した夏野菜を収穫する様子）

【災害救助犬】

外を覗くと部員たちとナッツ号の姿が…犬部では災害救助犬のナッツ号と訓練を行っていました。そこでは3年生が入部した1年生へ訓練方法を教える姿も見られ、失敗しながらも懸命に支持する姿が印象的でした。ナッツ号は今年で12歳になる相原高校生から人気のシンボリックな存在です。これからも生徒たちとともに相原高校を見守ります！



（写真：災害救助犬のナッツ号）